



頃遠馬平んん

字安所入の書は

勢之怪如くは物

みはふのあふしを

一、或れは汗多

走物田印あこく

己しり人の口

一カをら一七括る

正比正風ハ若

死田ゆ



正比正風のききうん

元日柳のふきおれ

七八不字のききおれ

十子ふいけ走七十一雨

二物約言上御のしん

申打毛のききおれ

よのこえしん

中と建たきしん

本名をききおれ妹

子屋上ふしき

あ人一人のき

美妻ふいけ

あ

美妻の心はわらふ

おもひぬれぬ心

あふぬれぬ心

あふぬれぬ心

あふぬれぬ心

あふぬれぬ心

あふぬれぬ心

あふぬれぬ心

あふぬれぬ心

あふぬれぬ心

あふぬれぬ心

あふぬれぬ心

一解、亦多舟、
而人之物、味、
之、珠、非、也、
是、人、心、也、
五、也、
計、也、
行、也、
也、
也、
也、
也、
也、

升石御の秩十

接立舟 十ああこ

一宿しきふさかや子

一宿先時のあふ

中印あし同とい

又し是巧いん

上平念まの教

いしきし之居也

しはあふ念をい

中ふあしは川打お

立所しきい

いふあししは

立所下らるるは
の久保のしらね
也也明るは大物
ありては先ん
一守りて部不
幸い何れ下る
病介久物也
主守りて中
いふ大物
し出る
あふも
馬鹿

馬鹿しは平次

おーおーおーおー

行いふを子よ

御印上りし

石丸

あゝ
あ

おれらも玉候とあこ二三

あしあしあしあしあし



帆足萬里書簡 帆足藏人宛

特別
又4
4899
4(10)





領口遠馬平元
 字安内入小吉元
 勢之修心人物也



帆足萬里書簡 帆足藏人宛

特 別

又4

4899

4 (10)

